

1 学期終業式の後、生徒は短い時間で「終業式を終えて」を記入しました。

この取組は、聞いた話を要約したり自分の考えを組み入れた文章を短い時間でまとめることを通じ、思考力・表現力等の向上を目指すものです。

内容は、「1 今日の校長先生の話の要点は、どのようなことでしたか。箇条書きで書きましょう。」「2 上記の内容をもとに、自分が感じたり考えたりしたことなどを、文章で書きましょう。」の2つです。各学年から何名かの内容を紹介します。

3年 Y. M.

1・あたりまえのことをあたりまえにできるわけではない。

- ・説明責任
- ・挨拶の大切さ

2・私がこの学校に入学した2年前はまだコロナが流行っていて、たくさんの行事が中止になったり、大変なことが様々でした。今ではコロナが五類になり、先日は修学旅行に行くことができました。何事もなく元気に帰って来れたけれど、校長先生話を聴いて、これらのことはあたりまえではないと痛感することができました。また、これからは進路選択が迫ってくるけれど、何か大事なことがあったらその都度その都度、家族、先生、友人に報告し、説明責任をもち、校長先生が言っていたように「大人としての自覚」をし、自立していきたいです。それに通じて、これから高校見学なども増えてくるので、いろいろな人に自ら挨拶をし、人との交流を大切にしていきたいです。

3年 S. N.

1・体育祭を通して貢献できていた。

- ・親が授業料や他にもお金を払ってくれている。
- ・自分の良さ、得意、強さを伸ばしてほしい。

2・体育祭では、体育委員としてクラスをまとめて、みんなが協力してくれたからこそ成功したと思う。ときには意見を聞いてくれなかったり、意見がまとまらなかったりと大変なことがあって、先生に怒られてしまうことがあった。男子体育委員ともぶつかってしまうことがあったが、一回一回話し合い解決し、実行することができた。クラスや集団をまとめることは簡単ではないが、達成感を得ることができた。

- ・親が色々なところでお金を出してくれていることを忘れずにいたい。
- ・今年は受験生になり、苦手な受験勉強も力を入れなくてはならない。私はバレーボールをすることが好きで、高校でもやりたいと思っている。高校でもバレーボールを続けるには、まず勉強が大切なので力を入れて頑張りたい。

3年 K. S.

1・沢山の人の援助のありがたみについて

- ・自分の強み、弱みについて、良さや願望にも目を向ける
- ・この夏で自分の進路や将来のことを調べたり考えたりする。
- ・あいさつの大切さ、あいさつの基本の目線…etc.

2・校長先生話を聞き、まずこの日常を送っていただけること、あたりまえのことをあたりまえにできるありがたみを実感しました。この夏は受験のこと、将来のことを考える良い時期です。忙しくてあまり話せずにいた、進路や行きたい高校などの情報を入手し、自分ひとりで考えるのではなく、家族や先輩の話も聞きながら自分の知識にも取り入れていきたいと思います。自分の弱みや強みもまだ全て把握できているわけではないので、この夏、たくさんの人々と関わりながら、自分の中の自分を見つけていきたいと思いました。

3年 M.I.

1・人生は自分自身の選択で変わる

- ・私達を支援してくれる人の思いや気持ちに応えなければいけない
- ・苦手を改善するのも重要だが、自分のよさ、得意なことを伸ばしていくことが大切

2・「人生は自分自身の選択で変わる」という言葉に思わずはっとなりました。私は何か物事を決めるのが苦手で、周りに流されてしまうことが多かったからです。でも、自分で最終的には進路を決めることの大切さに改めて気づくことができました。自分で自分の納得のいく進路を選択していきたいと思います。

3年 M.K.

1・あいさつ

- ・コロナ禍
- ・これから先のこと（進路）

2・校長先生のお話を聞いて、今学期はコロナ禍でありながら幅広く活動できたことを振り返りました。このような活動ができたのは、沢山の人の影の努力のおかげだと改めて感じました。だから、その人達や幅広く活動できるようになったことに感謝したいなと思いました。また、幅広く活動できたことによって、沢山の場で選択する場が増えたと思います。そのため、自分の良さ、課題を考える夏休みにし、進路選択に向けても真剣に向き合いたいです。そして、学校外などの更に幅広い公共の場に出たときに、恥をかかないように挨拶をしっかり行い、地域の人との関わりを大切に作る夏休みを過ごしたいです。

3年 A.O.

1・70日目終業・たった2年前コロナ。でも当りまえに感謝。体育祭、中央中の強み、裏の係、体育委員が中心。保護者など…関係ない？いいえ、1時間1000円の税金。お金と手間ひま。「説明責任」きちんとする必要ある。披露する、だよりやサイトも、授業参観や体育祭も。

- ・進路→どこでどんな生活するか。自分だけで決断できない。弱点克服→強みにする、伸ばすこと。自分の強み、良さ、とりえ、これからどうしていくか。
- ・「あいさつ」校長先生の顔を見るのも朝だけ。一生ものの財産！基本、習慣そのもの。

2・毎回、テストなどで必要な学力を身につけるために学校の授業を受けている。ここには税金が関わっているが、1時間に1000円、単純計算で1週間に実質29000円もかかっていることが分かった。ここまで親が払ってくれているなんて知らなかった。いつも配られている学校だよりも、親に見せることを忘れてしまっているが、これもお金を払われている側の責任であった。私が「お金を払ってもらっている」という立場にある以上、私にはその成果を「説明」する責任がある。普段の授業はもちろん、習い事や北辰テストなどの外部の試験などでお金がかかっている。そうでない場面でも、私は「期待されている」という自覚をもち、その期待以上に成果を出していきたい。

3年 S.K.

1・体育祭での体育委員の活躍、生徒の頑張りは中央中生の魅力

- ・多くの方々から支援を受けたことは、その人達に説明責任を果たす必要がある。
- ・卒業後どんな生活をするのか、自分の決断をよく考える。→人生は、自分自身の成長によって変わる
- ・あいさつは財産、そしてその人の生活習慣を示している。（あいさつの基本は先にすること、笑顔）

2・今年、（体育祭で）私たち緑団は準優勝、3年5組は学年優勝することができました。そのような結果を出すことができたのは、クラスを引っばってくれた体育委員、行事を成功させるうえで協力してくれた地域の

方々のおかげだと改めて実感できました。体育祭当日は天候も不安定で、時間も長かったのに、最後まで見届けてくれた方達に競技を通じて恩返しをすることができていたらいいなと思いました。進路については、まだ自分の進学したい高校は明確に決まっていないけれど、夏休みの学習の取り組み方を通じて、納得のいく高校に行くことができたらいいなと思いました。あいさつについては、比較的自分からするようにしているけれど、自分の声が小さく、たまに気付いてもらえないことがあるので気をつけたいです。

3年 Y. E.

- 1・体育祭では、生徒全員が心から楽しんでた。中央中の強み、伝統である。
 - ・学校の取組は税金で回っている。援助者への説明（説明責任）
 - ・今学期の自分の成長を振り返る。自分の良さ、強み、得意を伸ばす。今後、どんな進路や行き方を自分自身で選択したいか。自分の決断だけではできない。今、何をすべきか。
- 2・今日の校長先生の話聞いて、行事の多かった1学期はたくさんの思い出ができ、各行事を通して個人・クラス・学年として成長できたと感じました。特に修学旅行では、今までの行事と比べ、自分で考えて先を見た行動を求められることが多くありました。修学旅行後には、修学旅行での成長を活かすことができたと感じる場面がたくさんありました。今年の夏休みは、高校受験や進路につながる大切な期間です。校長先生の話の中にもあった「自分の良さ、強み、得意を伸ばす」ということを心がけながら、自分の進路を実現するための勉強を行っていきたいと思います。今後は、自分の進路や夢に合う進路や生き方を、周囲の人の意見も参考にしながら自分自身の意思で選択したいです。

3年 R. M.

- 1・毎日生活できたことに感謝
 - ・自分自身の成長に向き合う
 - ・あいさつについて
- 2・2年前までは、コロナの中で行事が出来なかったり、学校に行くこともできなかった。だけれど、今年は修学旅行に行くことができた。これはキセキだと思う。1日1日の時間はとても貴重で、大切だということが改めて分かった。なので、これからは1日に感謝し大切にしたい。この1学期で色々なことがあった。人間関係で少しいやなことがあったりなど様々なことがあったが、そのときの時間は自分の成長に向き合う時間だと思う。自分がその問題にどう向き合うかで、未来が変わると思った。また、あいさつに関しては、ときどきあいさつしないことがあったなと振り返った。これからはちゃんと目を見て、心からあいさつしようと思った。

3年 S. W.

- 1・「貢献」「援助」してくれる人のありがたさを考え、説明責任を果たすこと。
 - ・自分自身の強み、良さ、とリエを見つけること。
 - ・これからの進路に向け、自分が何をしたいのか、何をすべきなのかを考えること。
- 2・校長先生の話聞き、自分の1学期を振り返ってみて、周りの人、特に両親に支えてもらうことが多かったと感じました。受験生という立場になって4カ月近く、自分の想像よりもはるかに大きくその立場のつらさを実感し、体力的にも精神的にもつらくなることが多くなりました。そこで感じたのが、両親のあたたかさ、ありがたみです。支えてくれた両親のおかげで学習に全力で取り組むことができました。この後成績表が返却されますが、自分の得意・不得意を分析し、今後の学習に生かすとともに、両親に1学期の頑張り、感謝を伝えながら手渡ししたいです。

2年 K. T.

1・説明責任について

- ・進路選択について
- ・あいさつについて

2・私は話を聞いて、体育祭のとき、校庭のぬかるみを直すために先生達や生徒達が協力して体育祭ができるようにしている姿を見て、保護者の人達に中央中学校はこんなにすてきなんだなと思ってほしいと感心したことを思いました。また、進路選択の話では、自分自身の夢や成長に向き合い、これから何に力を入れていこうか、これからどうしていこうかを改めて考え直しました。そうして自立し、毎日笑顔を大切に、あいさつできるような人になりたいと思いました。

2年 H. N.

1・体育祭であいにくの天気だったが、よくがんばってくれた

- ・援助してくださった方々に見せないといけない
- ・何ができるようになったか、強みは何か、それをしっかり知ること

2・今回、私は体育委員に挑戦しました。体育祭があり、とても辛くなったりすることもありました。でも、校長先生がおっしゃっていた、地域の人や税金のおかげでこういった行事ができていると改めて思い、「この中央中学校のために、地域の人のためにがんばろう」と、最後までしっかりとやりとげることができました。そして今日は、通知表が配られます。今回のテストは、あまり良い結果ではありませんでした。ですが、提出物をしっかりすべての教科で出し、悪い成績にならないように少しでも努力しました。だとしても、しっかりと自分の成績を見ながら「どこの教科がだめなのかな」と、自分の成績を見直す機会にもなるので、家族と一緒に説明しながら自分をしっかり変えていきたいです。

2年 A. M.

1・当たり前に行える体育祭や行事は全てあたりまえではなく、周りで支えてくれる人や裏でがんばってくれている人達がいるからこそ成り立っている。

- ・今学期は自分の振り返り、自分の良さ、強み、弱さを克服し強みを伸ばす
- ・周りで支えてくれる人達に、自分の活躍、成果を説明する。どんな生き方をしていくのか、自分で人生を選択し、失敗しても結果と向き合う

2・今まで私は、成績が返ってきたり学校で何かあったりしても、周りの人、親などにも話したり共有することがなかったり、しゅしゅ見せたりしていましたが、今日の校長先生の話聞き、私が今、学校に通い、行事に当たり前に参加し、生きているのは、すべて周りの人の支え、援助があつてこそものなのだと、改めてよく分かった気がします。これからは何をするにも、周りの援助、支えがあることに感謝し、何かいいことがあったらそれもまた周りの人のおかげでもあるから、感謝の気持ちを込めて説明、報告したいと思いました。また私は今年2年生になり、あつという間に3年生になると思います。今回の夏休みで自分の進みたい進路や、やりたいことを少しずつ探していけたらいいなと思います。そして、これから何かをするにあたって、失敗したり成功したりすると思います。けれども、どんな結果になってもその結果と向き合い、前向きに進んで行くことができるように成長していきたいです。

2年 A. I.

1・あたりまえはいろいろな人によってある

- ・自分の選択で人生が変わる
- ・あいさつは財産

2・コロナが流行り、あたりまえのことはあたりまえではないことに気づきました。その中で、あたりまえにある学校の授業、行事などは、家族、地域の人、先生など数え切れない人の支えによってできていることが分かりました。この支えてくれている人への感謝は、行事をしっかりとやるなどの態度で返していきたいです。自分の日常の1つ1つの選択で、友達、学校など人生が変わっていきます。その1つ1つの選択をしっかりと決めて、楽しい後悔をしない人生にしていきたいと思いました。

2年 R.K.

- 1・体育祭などの行事の実行には、裏方でいろいろな人が努力しているということ
 - ・この夏休みの間に、自分の良さや強みは何なのか知ることや、その良さや強みを伸ばすことが大切だということ
 - ・あいさつはコミュニケーションの基本であり、その人を表すものであるため、重要だということ
- 2・私はこの話を受け、この夏休みは自分自身を成長・進化させられる有意義な時間にしたいと思いました。志望校も決まり、その高校に向けた勉強を始めていくだけでなく、自分と向き合い、自分の良さを見つけるために夏休みの間は時間を使いたいです。また、あいさつは日々の自分を表しているという話から、いつも自分はこういった生活を行っているか、自分で見直したいと思いました。見直し、自分の態度やあいさつが気持ちのいいものになるように改善していきたいです。咄嗟にありがとうなどのお礼ができるような人になりたいです。

2年 K.T.

- 1・コロナ禍を越え、いろいろな人が行事に来てくれることに対し、説明する。
 - ・決断して、今後どうしていくか進路選択
 - ・何をすべきか、自立への一歩を
- 2・コロナ禍が落ち着き、行事に色々な人々が来てくれるのは当たり前ではなく、その裏では色々なものが動いていることが分かった。だから、当たり前のことを当たり前と思わず、そのことに感謝していこうと思った。また、自分の進路、今後どうしていきたいかを選択し、自立への一歩を踏み出すために何をすべきか考え、それを達成できるように家でもよく話し合い、一度きりの選択を正しくできるようにしようと思った。

2年 K.N.

- 1・体育祭、説明責任
 - ・進路
 - ・あいさつ
- 2・体育祭は、保護者、体育委員の支えがあってできているのだと思いました。なので、いろいろな人に感謝をして、行事を行いたいと思いました。そして、夏休みになったら少しずつ進路のことについて考えていかなければいけないので、どんなことをやりたいか、考えていきます。自分のなりたい職業になるにはあいさつが大事だし、登校するときにいつも校長先生が立っているけれど、振り返ってみて、ちゃんと目を見ていなかったということに気づいたので、マスクで分かりにくいと思うけれど、ちゃんと目線や笑顔を忘れずにあいさつしようと思いました。

2年 T.N.

- 1・体育祭 裏方の素晴らしい貢献
 - ・通知表 自分のことを見つめ直す
 - ・進路選択 どんなことをしたいのか決断する

- ・あいさつ 生徒にとって一生の財産
- 2・体育祭は、裏方の人や家族などいろいろな人が支えてくれた上で成り立っていることを今一度感じた。そんな人達の期待に応えられるようにしていきたい。通知表は、結果に一喜一憂するだけでなく、自分の得手不得手を見つめ直し、苦手なことを克服するために向き合えるようにしたい。進路選択では、抽象的な願望に留めず、具体的にどんなことがしたいのか考えたい。あいさつは自分の印象を左右する、とても大切なことだと感じた。地域の人にもあいさつをして、必要になったとき適切なあいさつ、好印象を残せるあいさつができるようにしたい。

2年 M.K.

- 1・体育祭の支えてくれた人々、重要性
 - ・進路に対して大切なこと
 - ・あいさつの大切さ
- 2・私は、進路に対しての向き合い方に感じたことがありました。校長先生の話から聞いた「自分を見極め、何をすべきか考える。それが自立への一歩」 私は、今まで何かをしたとき自分を振り返るということに意味はあるのか、何かをしている最中に意味があると考えていました。ですが、校長先生の話聞いて、何かしたあとに自分を見つめることがとても重要で自立への一歩だと知り、これから自分をもっと見つめ直し、気づくことを次に活かして行動していきたいと考えました。

2年 N.K.

- 1・コロナが収まり行事ができた 裏方率先して動いた
 - ・弱点を伸ばす 夏は進路勉強
 - ・あいさつは人への印象
- 2・私は、体育祭学年優勝できて嬉しいなと思っていたけれど、そうやって楽しむことができた理由は、いろいろな方達がたくさん動いてくれたからだと分かって、これからの行事は裏方の人達に気づいて感謝をしたいです。弱点を伸ばすために説明をしたり、これからどの道に行きたいか一人では決められないけれど、少し進路選択して夏に勉強したりしたいと思いました。私は朝、校長先生にあいさつをされ気分が明るくなったので、私も人を明るくできるように目線と笑顔に気をつけてあいさつをして、人に好かれるようになりたいです。

1年 N.S.

- 1・行事や学校生活は周りの人に支えてもらっている。自分達に説明責任がある。
 - ・1学期を振り返り、ダメなところだけでなく、良さ・強みを見つける。そして、中学卒業後どうするか
 - ・あいさつの大切さ
- 2・自分達の学校生活は、親や先生、地域の人などたくさんの人の支えがあってできていると分かりました。なので、行事や授業に全力で取り組み、説明責任を果たしたいと思います。また、1学期はできなかったことだけでなく、自分の良さや得意なことを見つめ、伸ばしていきます。毎朝のあいさつのとき、小さい頃は恥ずかしさや「返してくれなかったらどうしよう」という気持ちが勝ってしまい、なかなかあいさつできなかったけれど、小学生になったとき先生に笑顔であいさつを返してもらったときにうれしくなりました。そのとき分かったことが、改めてあいさつの大切さに気付くことができたので、これからもしっかりあいさつしていきます。

1年 M.K.

1・行事（体育祭）について

- ・お金（税金）について→授業参観などをしている理由？—説明責任
- ・通知表などを振り返ることが大切
- ・あいさつについて

2・体育祭で、途中からグラウンドの整備を手伝うことができたけれど、もっと朝早くからやってくれていた人たちに感謝を忘れず、次は自分がやれるようにしたいです。今日もらう通知表や定期テストの結果をもとに、夏休みに意味のある学習をし、自分が成長できる夏休みにしたいです。また、あいさつはお互い明るい気持ちになれたり、外国では敵意がないことを示すことが分かったので、自分から進んで元気に、明るく笑顔であいさつをしたいです。朝、少しでも私達の顔を見ようと考え、あいさつしてくださっている校長先生の気持ちに応えることができるようにします。

1年 K.N.

1・進路

- ・税金
- ・あいさつ

2・僕たちは今1年生で、あと2年後に3年生になり、進路を考えることになります。行きたい高校や、自分に合った学校に行くには勉強を毎日し、努力しなくてはいけないと思いました。税金では、授業一人に1000円の金がかかっていることが分かりました。今まで、友達と多くしゃべっていたけれど、1000円のお金がかかっていることが分かり、授業をしっかり聞いてお金の無駄にならないようしゃべらずに受けていきたいです。僕も笑顔は苦手だけど、その分声を出して、先生方や近所の方々にあいさつをしていきたいです。

1年 N.H.

1・行事について

- ・自分の成長について
- ・自分の進路、将来について

2・中学校生活で自分がやるべき事、自分ができ事が分かるようになりました。別の地区から来た小学校の人と仲良くしたり、新しい仲間をつくることで自分は一步成長することができました。自分が苦手な勉強にも自ら取り組むことで、また一步成長することができました。6月後半にはテストがあって、自分で目標を作ってそこに向かってたくさん努力することができました。小学校ではできなかったことを、中学校でできるようにすることを目標に一步ずつ成長していきたいと思います。

1年 I.T.

1・通知表

- ・進路選択
- ・あいさつ

2・通知表についてのお話では、何ができるようになったのか、自立、弱点克服について話されていました。自分も弱点克服するために、何がだめなのかを振り返り、力をつけていきたいと思いました。進路選択については、「1年生だから」と油断せず、自分は何がしたいのか、そのためにはどうすれば良いのか考えていきたいです。また、あいさつについては、自分はできていないことがあったので、これからは会釈だけでもできるようにしたいし、知らない人にも心がけようと思いました。

1年 Y. I.

1・戮力協心 コロナからの行事の復帰 体育委員

- ・お金 今の学校への税金 説明責任
- ・自分の良さ 自立に向ける 進路→勉強 決断、選択、立ち向かう

2・コロナ禍を終え、行事も復帰して体育祭、合唱祭など小学校と違った新しい競技ができ、中学1年目からいい思い出だったと感じられました。特に、体育委員などの協力のもと、戮力協心していたなと思いました。また夏休みには、自分の良さを考えたり、進路からの勉強、決断・選択・立ち向かうことを考え、3年生にとって大変な夏休みになるんだろうと思いました。定期テストの結果から、巻き返せるチャンスとなる期間と、自分にとってこの夏休みはどう過ごしていくのか。この夏休みを、これからいい結果につながる一歩にしたいと思いました。

1年 K. N.

1・新型コロナウイルスが減り、行事を当たり前に行えることに感謝する。

- ・今の勉強以上に中学校卒業後の進路を考え、自立に一步近づく。
- ・あいさつはコミュニケーションの基本の財産であり、ふだんからすることが大切である。

2・最近では新型コロナウイルスも減ってきて、行事もコロナ禍以前と同じように取り組めるようになったことで、当たり前で学校生活ができること、親がお金や手間をかけてくれることに感謝したいと思いました。また、あいさつを大事にし、コミュニケーションをとっていきたいと思いました。自分は、中学校卒業をした後のことなんか考えず今の勉強を考えていましたが、それだけでなく、卒業後にしたいことを意識したいと感じました。

1年 R. A.

1・税金

- ・あいさつ
- ・自立

2・僕たちは、教材が税金で無料で使えていることや、今、普通に生活できているという、多くの人々に支えられて生きていることがあたりまえのようになっていたけれど、これからは自立していかなければいけないので、そういう生き方はやめようと思いました。また、社会で上手に生きていくためには、あいさつや人づきあいが大切だと思いました。

1年 A. S.

1・体育祭などの行事で、保護者や地域の方に活躍を見せることが大切。

- ・通知表を見て1学期の自分と向き合い、何ができていてこれからの自分に何が必要かを考えることが大切。
- ・ニコッと挨拶ができることは一生の財産であり、「先にする・目線・笑顔」の3つができて「あいさつ・ありがとう」ができてほしい。

2・通知表の話も挨拶の話も、これからの進路・人生にとって大きく影響しているということが分かりました。特に挨拶の話は、話の例にもあったように、同じ能力の人が来たとき、挨拶ができるという人の方が良い印象を与えて採用されやすいという話を聞いて、いくら良い学校を出ていても、就職できなければ意味がないと思ったので、毎朝の校長先生への挨拶だけでなく、他の先生や友人にも気持ちの良い挨拶をしようと決めました。

1年 S. I.

- 1・将来に向けて今何をしたらいいのかを考え、これからの学校生活の中でそれをつかむ。
 - ・自立に向けた大人としての責任
 - ・自分の成長と向き合う
 - ・気持ちの良いあいさつ 「ありがとう」
- 2・「私は1年生だし、将来のことにはまだ関係ない」と思うことがあるけれど、校長先生のお話を聞いて、将来に向けて今、何をしたらいいかを考えて行動することが大切だと分かりました。「自分の言動、行動には自分で責任をもつ」「自分は何ができて何ができないのかを考え、自分と向き合う」この2つが将来に向かう第一歩だと思いました。これからに生かしていきたいです。また、あいさつや会釈など周囲の人への礼儀を忘れずに、当たり前のことをしっかりやっていきたいです。

1年 H. T.

- 1・通知表などを通して、親にできたこと、できなかったことを説明する（振り返り）
 - ・あいさつは自分の生活を表している
 - ・人生は自分の選択で変わる
- 2・僕は、家に帰ったら親と1学期の振り返りをして、だめだったところは何か、何ができていなかったかを確認したいと考えました。また、2年後の高校入試に向けて、定期テストでのできなかったところ、苦手なところをこの夏休みを使って克服したい。他にも、夏休みで自分の将来のやりたいことや目標を決めたり、その目標を達成するためには何が必要か、どのような努力をしなければいけないかを考えたい。しかし、自分の私生活も改善していきたい。そのために、毎日できるあいさつや家の手伝いなどをする習慣も夏休みでつけたいと感じた。

1年 T. K.

- 1・税金や親が払ってくれているお金について
 - ・通知表や進路について
 - ・あいさつやコロナのときの行事について
- 2・税金やお金については、親に感謝して学校生活を過ごしていきたいです。通知表や進路については、自分はどこに行くかまだ決まっていないけど、将来いい会社に就けるように勉強を頑張りたいと思いました。あいさつやコロナのときの行事については、笑顔で元気よくあいさつし、今、いろんな行事ができていることに「ありがたみ」をもっていきたいです。

-
- ・入学式・始業式から、様々な行事を成功させたあつという間の4カ月でした。行事の振り返り、渡される通知表の「意味」から「説明責任」の考え方について、また、挨拶について話しました。生徒の文章にも出てくる「1つの授業あたり、生徒1人は概算で1000円を支払っている」という内容は、教育改革実践家の藤原 和博氏の講演や著書の中でふれられていたものをお借りしています。私は全てをお金に換算すればよいとは思いませんが、学校で日々を過ごす生徒達が、いったい何にどのように支えられているのかを知ることは必要と考えています。
 - ・同じ話を同じときに聞いていても、受け取り方や印象に残った内容は皆異なります。教育の面白さ、また、難しさを感じるころでもあります。
 - ・この取組には「正解」はありません。話の要点を捉え、聞いた話について自分の考えを含めて短い時間で書くことを求めるものです。

- ・「学校は社会に出たときの力をつけるところ」。3年生のみならず、2年生も1年生も、将来に何かがつながる夏休みであることを願っています。

：越谷市立中央中学校 校長 石山 秀樹